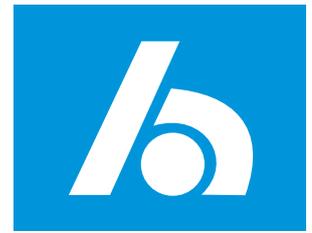


# ほうじん さかけこ



発行所

酒田市中町二丁目4番1号

社団法人 酒田法人会

TEL 26-4772 FAX 26-4788

URL <http://www3.ocn.ne.jp/~s.houzin>

E-mail [s.houzin@jeans.ocn.ne.jp](mailto:s.houzin@jeans.ocn.ne.jp)

● あたらしい時代の経営者へ 法人会 ●

# 謹賀新年

平成二十四年 元旦



鳥海山と白鳥

特  
集

- 新年のご挨拶
- 社団化30周年記念事業盛会裡に終わる!!

# 新年の ご挨拶



社団法人酒田法人会  
会長 前田直己

新年あけましておめでとうございます。  
会員の皆様には、新しい年に益々のご発展とご多幸をお祈りいたしております。

さて昨年は、当会にとって「社団化三十周年」の節目の年でありました。記念式典には多数の皆様にお集まり頂き、夫々に温かいお言葉を賜る中で、改めて先輩が築かれ現在に引き継がれてきた当会の「良さ」を味わうことができました。当会の性格上、何事もなければ、その存在感を強調する場面はありませんが、税務に係る事業はきちんと熟（こな）し、青年部会・女性部会・三水会を中心とした地域貢献活動も年々充実し、当会の知名度も高まって参りました。偏に、会員の皆様のご理解と、ご支援のお蔭であります。

その延長線上にあつて、先般、懸案でありました「公益認定」申請において、全法連・県をはじめとする関係の皆様のご指導とご協力を得て、無事新しい形を整えることができました。従つて、新年度（四月）からは、「公益社団法人」を名乗ることとなります。

日常的には、「地区役員会」を中心に、地域性を重視しつつ、毎年の如く変わる税制に、皆様と共に目を光らせながら、新しい歴史を築いて参りたいものです。

本年もまた課題多き年と予想されますが、この年頭に当たり、また倍旧のご支援をお願いし、ご挨拶とさせていただきます。



酒田税務署長  
西山公造

新年あけましておめでとうございます。  
社団法人酒田法人会の前田会長はじめ役員並びに会員の皆様方には、日頃から税務行政に深いご理解と多大なご協力を賜り、厚く御礼申し上げますとともに、本年もよろしくお祈りいたします。

昨年は酒田法人会社団化三十周年を迎え節目の年でありました。これまで税に関する各種研修会、小学生のための租税教室の開催、社会貢献活動としての文化事業、電子申告の普及拡大など幅広い事業を展開されており、このことに対しまして深く敬意を表します。

さて、昨年東日本は未曾有の大震災に見舞われましたが、国税当局としては、被災された方々への震災特例法の周知、対応等を最重要課題として位置付け、平成二二年分所得税の還付申告や更生の請求などの減免手続きに向けた電話相談、個別相談等に取り組んでまいりました。

本年におきまして、東日本大震災の被災者の皆様方への対応を始めとして、引き続き電子申告の普及拡大に取り組み、納税者サービスの向上に努めたいと考えております。

本年四月から公益社団として進展される酒田法人会の皆様方には今後とも倍旧のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

最後に社団法人酒田法人会、会員皆様方のご事業のご隆盛とご健勝をご祈念申し上げ、私の新年のご挨拶とさせていただきます。

## 今年もよろしく!!



中央上地区長  
五十嵐 亮



駅東地区長  
高橋 幸雄



北部地区長  
池田 求

地区長の皆さん



副会長・Web化促進委員長  
平野 宣



副会長・税制委員長  
後藤 毅



副会長・広報委員長  
滝井 宗一



副会長・総務委員長  
大滝 健二



副会長・組織委員長  
弦巻 伸



社団法人酒田法人会  
青年部会 部会長  
佐藤 憲二

新年明けましておめでとございます。

日頃、会員の皆様には当部会の活動に対し、ご理解とご協力を頂き、心より感謝申し上げます。

昨年度は、出前租税教室をはじめ、様々な継続事業をこなしてきましたが今年度も、それに加えて、会員の拡大と会員の交流、後継者育成に力を入れていきたいと思えます

会報誌「ランナー」に関しては、三二号より会員の自社アピールが出来るように企業紹介という欄を設けました。これを機会に、もっと会員同士だけではなく、広く仕事の方でも興味を持って交流を深めて貰える機会を作りたいと思います。また、講演会を含めて、女性部会・三水会との合同事業も行いました。

今年度も趣向をこらしながら、親会会員の後継者を青年部会に入れたくなるような会をみんなで作っていくつもりです。

本年も会員の皆様には、ご支援・ご指導をよろしくお願い致します。

新年明けましておめでとございます。

昨年は、自然の持つ力の怖さをまざまざと見せつけられ、本当に試練の年でした。一方、助け合う人間の強さ・心の結び付きの強さを感じさせられた年でもありました。

当会女性部会では、経営人として災害時にどう行動し、その後の対応をどうすべきをテーマに研修会も開催し、教訓を活かす努力をしているところでもあります。

また、県内他単位会の女性部会との交流会にも積極的に取り組み、「酒田を識る」とともに、見分を高める事業や、「和菓子造り」で会員交流を深めることもできました。

年間継続事業の「出前租税教室」も充実し、それに連動した「絵はがきコンクール」への参加協力を要請し、多数の応募を得ました。

また、本年も会員の皆様のご協力をお願い申し上げ、幸多き年でありますようお祈りし新年のご挨拶とさせていただきます。



社団法人酒田法人会  
女性部会 部会長  
大泉 公子



社団法人酒田法人会  
三水会 代表幹事  
鈴木 啓一郎

新年あけましておめでとございます。

日頃より当会の運営に関しまして、ご理解ご協力誠にありがとうございます。昨年三月の東日本大震災の発生・長引く原発事故問題と誠に心痛む年となりました。記録的円高や出口の見えないデフレ経済、海外に目を転じれば、ヨーロッパ発信信用不安問題や中東・北アフリカの民主化デモの広がり、タイの洪水等、不安をかき立てる要因に事欠きませんでした。こうした取り巻く環境の変化に対応した税制や諸施策の改定は必至であり、三水会では、それらの動きを敏感に捉えた学習テーマを策定し活動を展開していきたいと考えております。また、今年は公益法人への移行元年となる節目の年でもあり、三水会は、その参加者が法人の実務担当者であるという特色を活かし、更に多くの方々からご参加いただき、内容の濃い充実した会組織にしていけたらと思います。本年も皆様方のご指導・ご鞭撻を宜しくお願い致します。

## 新たなスタートの年!!



平田地区長  
今野 博



松山地区長  
池田 一喜



八幡地区長  
阿部 孝志



遊佐地区長  
庄司 茂正



河南地区長  
伊藤 功



南部地区長  
畠中 昭治



東部地区長  
中村 穰



中央下地区長  
齋藤 俊一

# 「平成24年度税制改正に関する提言」で 酒田市長と市議会議長に陳情



基本的には、先の東日本大震災の復興財源としての増税については、反対しない立場であるとして、行財政改革の推進、法人税引下げの実施、中小企業にとっての現実的事業承継税制等に言及し、納税環境整備（e-Li Taxの活用）に協力することを表明しました。

併せて、新年度から地方行政（県・市）との新たな関係作りにつき協力要請を致しました。

自の提言活動を実施するよう指示がありました。当会としては、前田会長と後藤税制委員長（副会長）から、去る12月6日に酒田市長及び市議会議長に面会を求め、意見・要望等について申し入れました。



昨年10月6日、全法連全国大会（神奈川）を経て、今年度も政府・政党・国会議員に対し、来年度の税制改正に向けた法人会としての考え方を纏め、提言活動を行いました。

これを受けて、各単体会として地方自治体及び議会に対して、独自の提言活動を実施するよう指示がありました。

## 組織強化月間の取組

加入率を回復（72%）し  
更に会員増強に努力することを申し合わせ！



今年度も、当会の重点課題であります組織強化につき、十一月を中心に強化月間として定め、精力的に取り組みました。目標としては、各役員が一件獲得を努力するとして、最低でも三月末の加入率（72%）を回復することを申し合わせ、「地区役員会」を軸に入活動が組織的に展開されました。

十二月六日（火）開催の第二回組織合同会議での中間報告では、

ほぼ目標に到達する目標がたつたことが確認されました。

会員増強の取組は、事業方針として、通年の取組として、今後とも年度末（三月末）まで継続することとなります。会員の皆様のご協力を切に望むところであります。



## 平成23年度 納税表彰式行われる

今年度の酒田税務主催の納税者表彰式が、十一月十日（木）に酒田産業会館で行われました。

当会関係で表彰された方は、次の通りです。

酒田税務署長表彰

株式会社 大 泉

取締役 大 泉 公 子 氏

（社団法人酒田法人会女性部会長）



# 突然ですが?! 「社団法人酒田法人会」は 平成24年度から 名前が変わります!!

生まれは …… 昭和22年 8月27日 ~ \*全国 5番目に誕生  
「酒田法人協会」(任意団体)

社 団 化 …… 昭和56年10月27日 ~  
「社団法人酒田法人会」(民法法人)

現 在 は …… 平成20年12月 1日 ~ \*公称は変わってませんが ……  
「社団法人酒田法人会」(特例民法法人)

そ し て …… 平成24年 4月 1日 (予定) ~  
「公益社団法人酒田法人会」(公益法人)

…… となります!

## 第 1 回通常総会 日程決まる!!

新年度は、公益社団法人として記念すべき新たなスタートの総会となります。

日程は次の通りです。

日時 平成24年 5月22日(火)

① 午後 2 時30分~

記念講演会



「これからの政治のゆくえ」

講師 政治ジャーナリスト

後藤 謙次 氏

② 午後 4 時~ 設立総会

会場 ベルナール酒田

( \* 正式のご案内は 4月中旬頃となります。)

## <当会のこれから~>

平成23年10月25日に、県・公益認定等審議会の知事への答申が出て以降の当会の対応は以下の通りであります。

平成24年

2月21日 第 4 回理事会・第 2 回役員合同会議

\* 平成24年度事業計画案・収支予算案承認

3月下旬 「公益認定」取得 (予定)

4月 1日 公益社団法人酒田法人会設立登記及び  
特例社団法人酒田法人会解散登記

\* 新定款・諸規程・規則等発効

\* 直ちに、行政庁(県)及び旧主務官庁(酒田税務署)に登記事項証明書を提出

5月22日 第 1 回通常総会

公益社団法人酒田法人会設立総会及び  
特例社団法人酒田法人会解散総会

\* 平成23年度事業報告・収支決算報告承認

国税電子申告・納税システム

# e-Tax

納税には  
ダイレクト納付  
が便利です!

e-Taxを利用して電子申告等をした後に、届出をした預貯金口座から、簡単な操作で即時又は期日を指定して納付することができます。

※事前にダイレクト納付利用届出書の提出が必要です。  
※届出書の提出から利用可能となるまで、1か月程度かかります。

国税に関する申告や納税、申請・届出などの手続きがインターネットで行えます。



電子申告で  
効率UP!

e-Taxを利用して所得税の申告をしたらこんなメリットが!

平成23年分は最高4,000円  
平成24年分は最高3,000円 の税額控除

添付書類の  
提出省略

還付が  
スピーディ

**法人会**

法人会は会社経営の効率化のためにe-Taxの普及を支援しています。

ご利用に際し条件、注意事項があります。詳しくはホームページでご確認ください。

イータックス

検索

# — 社団化30周年記念事業 —

## 盛会裡に終わる!!

昭和56年10月に「社団法人」となって30年。この記念すべき節目の年を迎えるに当たり、昨年度から実行委員会（委員長：大瀧副会長）を中心に、記念事業の企画立案・準備を行って参りました。

そして、11月11日には、これまでの「税を考える週間」の事業と合体する形で、「砂川直子ソプラノリサイタル」を、11月15日には「記念式典」を開催し、何れも大変な盛会の裡に終えることができました。

### 11月11日 砂川直子ソプラノリサイタル



挨拶する前田会長

2011年11月11日（金）夕刻の酒田市民会館・希望ホールは約900名の観客でほぼ一杯になりました。酒田市で生まれ、昨年の第40回イタリア声楽コンクールで、見事シエナ大賞を受賞された砂川さんは、国内外で忙しく活躍中の合間を縫って、当会の30周年

を飾ってくれました。持ち前の音域の広い声量と情感あふれる表現力（歌唱法）は、聞く者を魅了して圧倒し、魅了してやまないものがありました。

第1部では、「おくりびと」・「坂の上の雲」のテーマ曲など日本の歌を、第2部では、本場のオペラを披露し、終曲は「ふるさと」を会場全員の合唱で締めくくり、感動的な一夜となりました。



### 11月15日 記 念 式 典

当日は、税務当局をはじめ行政関係・関係友誼団体そして全法連と県内各単位数等、多くの来賓のご出席を得て、ベルナル酒田を会場に総勢200名で開催されました。開式に先立って、東日本大震災に想いを馳せて全員で黙祷を捧げました。生憎、期待の記念講演会は抛無き事情で中止となりましたが、式典は各界代表のそれぞれ懇切なご挨拶を頂き、30年の経過に改めて先人から引き継いでいる財産を顧みる機会となりました。記念表彰は、功労者表彰式と多大な支援に対する感謝状贈呈式が行われました。

#### 来賓挨拶



仙台国税局  
税務課長  
高橋 雄一氏



山形県庄内総合支庁長  
会田 稔夫氏



酒田市長  
阿部 寿一氏



全法連・専務理事  
松本 敏朗氏



— 表彰式 —

### 祝 社団化 30周年 社団法人 酒田法人会 記念講演会・記念式典

— 開式の辞 —

